



## 川底が高い天井川の歴史

7 天井川は小泉町の中央を流れ、沼田川に合流し三原湾へ流れ込む約12kmの川です。江戸時代(1710年頃)以前、この地域には、よく茂った森林が多くあり、村人の収入源でした。しかし、人口が増え、山を開墾し農地を広げたため、山は荒れ、干ばつや水害が起きました。1720年から30回を超える水害が起り、災害を防ぐため多くのえん堤をつくりました。天井川とは、砂や小石が積み重なって川底が周辺の平面地よりも高くなつた川のことをいいます。南北にある添え川(水路)や田んぼと高さを見比べてみてください。



### お堂と道しるべ



8 市内には古いお地蔵さん、お堂や道しるべが多くあります。地域や旅人の安全を守るために、また住民の健康を願って村境、峠、地域の入口に建てられたのではないかと考えられています。



### 明白山の山姥（鬼の掌）

9 明白山には「鬼の掌」のような大岩があります。高さ8mあまりもあるかというような丸みを帯びた岩の表面には、まるで巨人の手をたたきつけたようなくぼみがあります。この手形は、太古に河水の浸食作用でできた陥穴で、地域の人々は「明白山に住み、人を食う鬼のような山姥が、岩を押し上げようとした時につけた手形だろう」と言い伝えられてきました。



山姥の手形



### 浮城窯

10 ものの豊かな時代こそ、ひとり一人の心の豊かさを願い、自然を相手に創造の喜びを求める三原市内で数少ない陶芸家の片山雅昭さんが、小泉町甲原に浮城窯をつくりました。

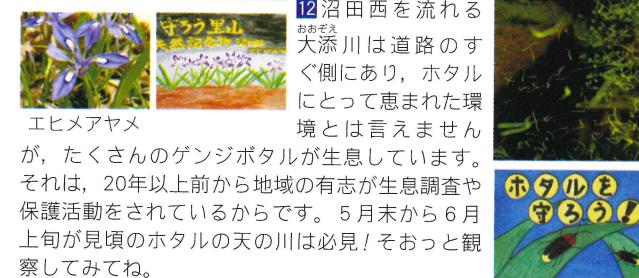
手作りの窯が二つあり、一つは県内でも珍しい半地下穴窯。この窯で赤松を燃料として、高温の炎と灰が直接作品にあたり模様を作り出す無釉陶器を創作されています。一度窯に火を入れると、1週間は仮眠をとりながら火の番を行わなくてはならない、体力勝負の焼きもの。静かな小泉の里を自分で探してみるのも楽しみのひとつです。



## 周辺のおすすめ みどころ

### 沼田西町発 里地・里山復元プロジェクト

11 沼田西町は、三原市の主要河川 沼田川の南に位置し、水田が多く山々に囲まれた自然豊かな地域で、「エヒメアヤメとホタルの里」でもあります。国の天然記念物で絶滅危惧種「エヒメアヤメ」の自生南限地帯は山の中にあります。地域の人は保護するため、生育地の草刈やハチク(淡竹)の伐採、周辺山林の整備を行っています。



12 沼田西を流れる大添川は道路のすぐ側にあり、ホタルにとって恵まれた環境とは言えませんが、たくさんのゲンジボタルが生息しています。それは、20年以上前から地域の有志が生息調査や保護活動をされているからです。5月末から6月上旬が見頃のホタルの天の川は必見! そおっと観察してみてね。

### ◆里地・里山の自然◆

かつて、人の暮らしと密接に関わり循環していた里山の自然は、ライフスタイルが変わった今、人の手が入らなくなつたことで荒れています。里山の風景は、集落とその周辺の海、田畠、河川、森林などから構成される私たちの心のふるさとの景観です。大量生産・消費・廃棄により、将来は人類の存亡も左右するほど地球環境は深刻化しています。

里地・里山の自然と親しみ、学び、持続可能な地域づくりを進めましょう。



### ◆交通(白滝山)

○JR三原駅から車で40分、JR本郷駅から車で20分  
○バス

小泉小前下車より3km  
三原駅前3番のりば  
小泉線  
芸陽バス(株)三原営業所  
Tel 0848-62-6241

### ごみは必ず持ち帰りましょう

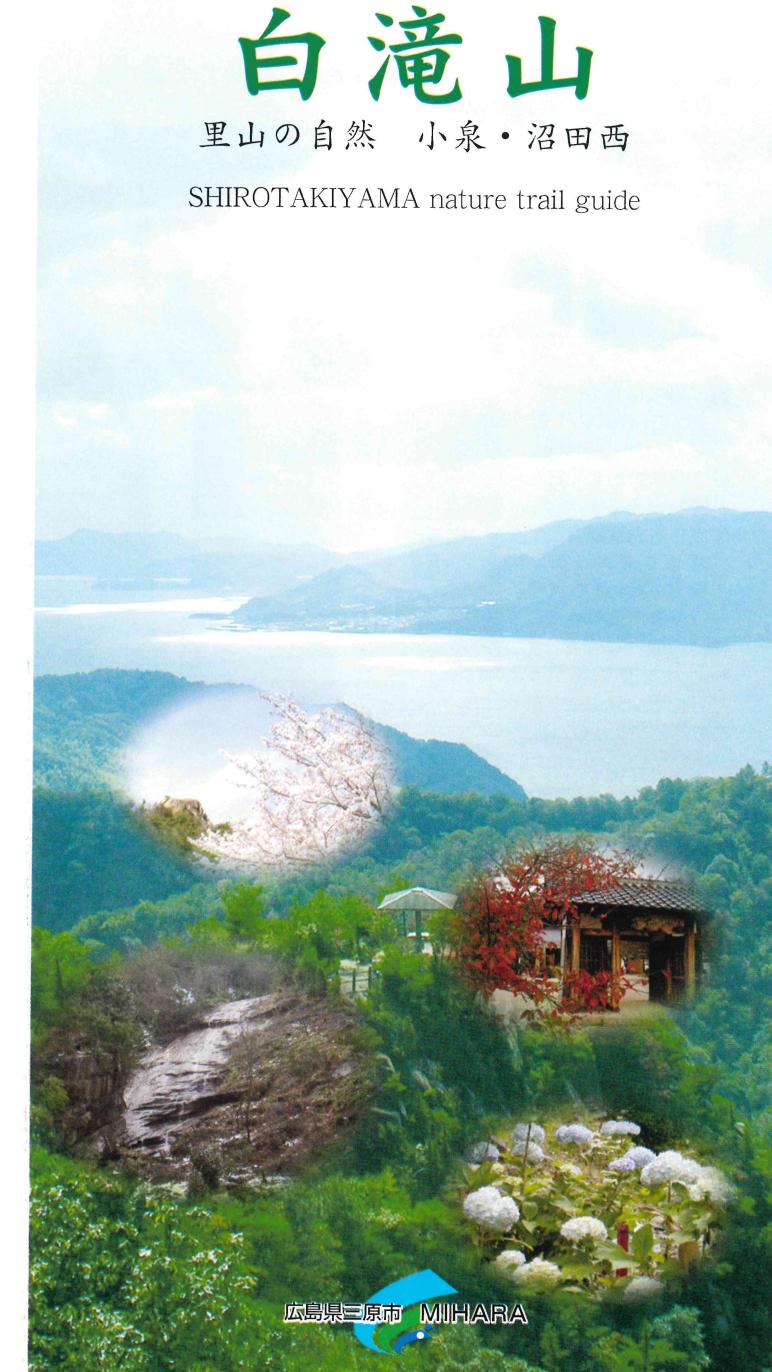
- 協力 石丸啓造(自然観察指導員)  
水辺環境みおし隊(みはらし環境会議)  
三原市生活環境部 環境政策課  
〒723-8601 三原市港町三丁目5番1号  
TEL 0848-67-6194 FAX 0848-67-6199  
E-mail:kankyoiseisaku@city.mihara.hiroshima.jp
- 発行



# 白滝山

里山の自然 小泉・沼田西

SHIROTAKIYAMA nature trail guide





## 植物を愛でながら歩こう

1 小泉小学校前から白滝山へ向かう新道を歩いていくといろいろな植物が私たちの目を楽しませてくれます。

冬になってしまっても落ちない葉っぱやヤマコウバン。葉っぱが落ちないことから受験生に人気の葉っぱで、こするとさわやかな香りがします。

少し広くなった砂止めは、地元の皆さんのがきれいに整備をされ、ここでは、冬と春、山からの水が流れ小川ができます。夏は水が枯れて小川は小道へとかわります。



2 広場には桜やハギ、タラノキ、ヤブツバキ、アキノキリンソウなど、いつの季節もたくさんある植物がみられます。虫たちも大歓迎！

さらに道を進むと左手に広い滝のようなシダ群が現れます。植物を愛でながら、さわやかな空気をいっぱいに吸い込むと、身も心もリフレッシュ。



## おおなら 黒光り 大滑の滝をみよう

3 黒光りする岩は、名前のとおり大滑（馬具の一つで鞍の下に敷く大型のもの）にそっくりです。大きな一枚岩から流れる水は少なく、そのためか岩盤の侵食も少ないようです。

有志の皆さんが滝の前に生い茂った雑木を整備されているおかげで、きれいで迫力ある滝の姿を見ることができます。

滝つぼ付近にはアジサイ、レンギョウなどが植えられ、訪れる人たちの目を楽しませてくれます。



# 見たい 知りたい 行ってみたい

## ～白滝山・小泉・沼田西 里山の自然～



## 360度絶景の白滝山へ登ってみよう

6 濑戸内海国立公園 白滝山は、三原市の南西部、竹原市との境に位置する標高350mの山です。山頂にたつと南に瀬戸内海の島々、遠く石鎚山脈、四国山脈、北は吉備高原、中国山地と360度の絶景が広がります。

山頂の巨大な花崗岩は、地元では八畳岩と呼ばれています。壁面には等身大の半肉彫りの仏像があり、この磨崖仏（市史跡）は豊作と平安を祈り、江戸時代初期に作られたと考えられています。

龍泉寺の十一面観音さまと鐘つき堂にはいわれがあります。ぜひ住職さんに会って話を聞いてみよう。（龍泉寺 TEL0848-66-3384）



## 龍泉寺で癒されてみよう

5 龍泉寺は、小早川氏の一族小泉氏の氏寺で、標高320mの山の上にあります。収蔵庫には、平安時代中期に作られた三体の県重要文化財の仏像が納められています。

趣のある門をくぐると正面に本堂、左には子どもを抱く子安觀音がまつってあり、子どもが授かるように、無事にお産ができるようにとつくりだされたようです。



## 遊歩道を散策してみよう

4 白滝山一帯は、生活環境保全林として整備され、遊歩道をめぐりながら樹木を観察することができます。

駐車場から龍泉寺へ登っていると、ふしぎな枝をしたニシキギがあります。ほかにも、ヤクシソウやコバノガマズミなどの植物があり、四季折々の自然を楽しみながら、ふと瀬戸内海に目を向けてみると、そこからの景色も感動です。あなただけのビューポイントをさがしてみましょう！

